

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ブランカ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日	～	2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日	～	2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>身体障害の方や車イスを使用されるご利用者様が利用しやすい設備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い入口(玄関は三枚ドア)と安全な移動ルートの確保として段差のない広めな通路。 ・介護用の入浴設備(電動リフトチェアを使用し安全に入浴が可能) ・バリアフリートイレ ・スロープの角度は緩やかに設計されている 	<p>車イス利用の方が動きやすい施設となっているため、その設備を活かし、日常生活動作の向上を図っている</p> <p>入浴設備が1か所であり、一人ずつとなる事から毎日の入浴は難しい為、夏場はシャワー浴や清拭など衛生面維持することや冬場は冷えない様に足浴を紹介させていただきなどしている。</p>	<p>個々によって可動域等変わるため、既存の設備では一人で出来る事が難しくなってしまう場合、個々に合わせた自助具等の利用を考えていく</p>
2	<p>外出の支援を実施する際の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のニーズ把握 ・リラックス出来る外出先選び ・体調管理をしつつ、安心して外出できる点 ・外出先での環境調整 ・小まめに休憩を入れる事 	<p>社会性を学ぶために、公共の場の過ごし方、お店に買い物へ行った時のルールを学ぶ等、今後必要なスキルを習得する為、個々に必要な支援を入れて行っている</p>	<p>外出が難しい方もいらっしゃるが、色々な経験をしてもらうために、施設内でも経験を通して学べるイベント等を起案し実施していく</p>
3	<p>個別課題の週を設け、個々に合わせた支援を提供している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション支援 ・運動機能改善の支援 ・感覚統合支援 ・社会性情緒の支援 ・生活面での支援 ・意志表出支援 	<p>個々によって集中できる時間が異なり、短い時間でもご本人が積極的に“やってみよう!”とする姿勢を大切に、時には遊びなど取り入れ前向きな気持ちを維持しつつ、自然に取り組めるような環境作りを行っている</p>	<p>アセスメントの方法を誰もが出来る内容にし、人によって評価に差異が出ないように仕組み作りを行う</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>定員数が5名(設備上)となっている事から、希望される全ての方を受け止めることが難しくお待ちして頂く事がある。</p>	<p>周辺におけるサービスの不足があり地域的な課題と感じている点。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会へニーズを共有する事で、地域に不足しているサービスである事を発信し続ける事。 ・学年ごとに希望している人数など把握するために、支援学校との連携を続ける事。 ・未就学児の方が将来利用したいとするニーズを調査する事。
2	<p>ご利用希望の方の年齢層が幅広い為、活動内容が年齢的に低くなってしまったり、その反対に高くなってしまったりする傾向がある。</p>	<p>全年齢での活動内容と個別化した対象年齢での活動内容をわける必要がある。その為、集団での活動に偏る傾向がある事。</p>	<p>活動内容そのものに注力するだけでなく、個別のアセスメントの見直しをして、より社会への関心が高められるような前向きな支援を行っていく</p>
3	<p>保護者同士のつながりが持てる場を提供することをしているが、きょうだい同士でのつながりを持てる場作りが行えていない</p>	<p>兄弟(姉妹)だからこそ感じる、思うことがあると考えられるが、ご兄弟の年齢層も広く、焦点を定め切れていない</p>	<p>兄弟(姉妹)同士の意見交換の場をどのような形で設ける必要があるのか等アンケートなど通して聞いていく。その他、事業所としても支援者間で出来そうな事をイメージする機会を作る。</p>

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所ブランカ
------	-------------

公表

日 2025年 3月 10日

児童

数 2025年2月1日 19名 (未利用1名)

回収数 14人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	1	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	3	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族	12	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	1	8		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	1	5	・保護者会等親に対しての催し物はありますが、きょうだい同士の交流の機会は設けられていないのかなと思います	保護者会や親同士の交流の機会は提供しておりますが、きょうだい同士の交流の機会については、現状では十分に設けられていない部分があるかもしれません。今後きょうだい同士が交流できる機会がどのように設けると良いのか等ご意見やご提案がありましたら、お気軽にお聞かせください。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れに対して、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申し入れをした際に迅速に対応していると思いますか。	12	1	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	1		
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	4		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	・自分から行きたいといい楽しく通えます	・プランカに今後も楽しく通っていただけるよう、安心・安全を心掛けながら支援を行っていきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	・すごく楽しみにしています。支援員さんのことを信頼して本人も通所すると笑顔で答えていると思います	・楽しみにしていただき、とても嬉しく感じております。今後も楽しく通っていただけるような活動内容を考えるなど努力をしていきます
29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	・トイレの数が少ないのかな?と思います。支援しながらのトイレも利用に含め、生活介護の方との共同利用の為に少し気になります ・入浴週2回利用したいところです	・多目的トイレの優先順位を決めて整備していきます。車いす利用者の方が優先して使用出来る様な仕組みを作って対応していきます ・現在多数の方が入浴の利用を希望されているため、週2回の入浴が難しい状況です。そのため現状では部分入浴(足浴)で対応させていただければと考えております。今後に関しては日々他に良い方法がないかを検討させていただき、また別のご提案が出来る様になりましたらご報告させていただきます	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所プランカ		公表日		2025年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・備品を移動し、より分かり易い環境を意識し適切な状況となるよう配慮している。 ・使用中でない車椅子は別室（多目的室）に仮置きしいつでも戻す事が出来る様にして、活動室のスペースを確保する事で有意義にご使用いただけるようにしている。 ・座位の取れそうな方は、床の柔らかいマットを使用することでより座位を取り易い様に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数7名の日は1人あたりの休憩スペースが狭くなること。 ・食事の際のスペースを確保する事。 ・車イス利用者を最大7名受け入れた際に、現状のマットでは狭くなってしまふ為、検討していく必要がある。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・同性介助を基本としているものの、支援員の急な休みがあると保護者様へ了承を頂いた上で対応させて頂いているが、出来る限り同性介助を基本としていきたい事。 ・なるべくマンツーマンでの対応をし安全性を確保しているが、支援員の昼休憩の調整に工夫が必要な時がある為、より分かり易くしていきたい。 ・人が必要な場面で職員を多めに配置する等休憩の入り方に工夫が必要 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに文字と絵で1日の流れを表示、説明し、理解できるよう努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・風呂のスペースや入浴のイスなど車イスの人のスペースが狭いように感じられる時がある。 ・改善の必要な場所はあると思います。利用人数が多い日など荷物を置く棚も足りなくなったり、災害に備えた整備もまだ必要かと思ひます ・車イス利用者が出入りできる場所が正面玄関としていることから、生活介護側の通路も場合によっては活用する練習が必要と感じます。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日そうじ、消毒を徹底している ・エアドッグの設置、定期的な清掃 ・毎日の清掃を行っている ・明るい雰囲気になるよう装飾している 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除等で清潔は保てていると思ひますが、活動する空間としては、1人のスペースとして狭い時があります 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいが工夫している。他の部屋を借りる等 ・宿題を行う等集中できる環境が必要な場面では空間を分けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない時の医務室は、車イスなど置く事にも使っているため、より使用しやすい様に改善していけると良い。 ・医務室が物が多く使用する際には移動させてからとなる為、より使用しやすくしたい。 ・医務室が別室になるが、利用するには物であふれているので整備は必要だと思ひます 		
業務改	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・出た意見にそつて改善案の検討と実施を行っている 			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・改善内容があればその度話しがあつている 			

普	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		・アセスメント方法について改善予定
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議を実施し、個々に合わせた支援を検討している ・支援会議を定期的に行っている ・支援会議を行い全員で支援の方法等について周知と理解をしている 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・個別課題の活動時間を設定し、計画に沿った課題を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・活動会議にて全員で検討している	・活動会議にて行っているが、更なる提案や工夫が必要だと思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動会議で毎月チームで考えている ・なるべく新たに活動の案を出すようにしている 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別課題や全員でのレク活動を組み合わせて実施している	
	20	支援開始前には職員間で当日の日程について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝の引きつぎで毎日実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に確認している ・その日のうちで何かあれば話しに出し、後日確認している ・翌日には必ず実施 	・毎日出来ていないなど不足と感ずる為、工夫していきたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		・“徹底”という意味では不足していると感じる。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・支援会議にて実施		

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・絵カードなどを使用し、2択で選択する場面を設定している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管、主任が主に参加。他の職員も参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		・医療機関との連携には課題を感じている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・自分が（直接は）関わっていないだけかと思いますが、出来ていないと感じました
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		・今後そのような研修があれば参加したいです
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・今後そのような研修があれば参加したいです。現状としては交流する機会がないように思います。そのような時間を作るよう年間予定に組み込めると良いと思います ・難しいのが現実
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・つぶやきカフェ実施。家族同士の交流の場、情報提供の場として活用している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等

39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・定期的に保護者会を行っている ・保護者面談、保護者会、つばやきカフェ等の実施	
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ	6	0		
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・おたより、ホームページ等で行っている ・毎月のお便り、HUGでの情報発信、ブログでの活動内容の発信の実施	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・破棄する資料は個人情報の取り扱いに留意し、シュレッダーにかけの事を徹底している。又、保管する情報など退勤前に鍵付きの棚へ戻す事を徹底している。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		・今後そのような機会があれば良いと思います

非常時等の対応

46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知すると	6	0		
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・保護者からの聞き取りによる把握は実施	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・毎月1回、安全計画会議の実施	
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・8月に地震想定による引き取り訓練を実施した	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	3		・ヒヤリハットが少ない理由として、支援者同士で感じられた事をその場で話し合っ調整できているためと思われます。その為、検討会議などへ発展させることが出来ていません。職員が意識して危険を感じたらヒヤリハットをあげていく必要があり、その工夫が求められると感じます。 ・ヒヤリハットの出す機会が少ないと思う

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年2回以上の虐待防止研修の実施	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		